

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

京丹後市長 中山 泰

市町村名 (市町村コード)	京丹後市 (262129)	
地域名 (地域内農業集落名)	久美浜町川上地区 (市野々集落、布袋野集落、畑集落、金谷集落、 市場集落、出角集落、須田集落、新庄集落) (新庄団地)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年6月30日 (第5回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手を中心に水稻栽培を行っている。
- ・高齢化による後継者不足に伴い、規模縮小、離農、遊休農地の増加が見込まれるが、農業法人を含む担い手を中心に一定の集積化が実現している。
- ・高齢化だけではなく、地域住民の農地(農業)離れも課題としてある。
- ・中山間地域で営農効率が悪く、有害鳥獣の被害がある等、課題解決に時間を要する地域である。
- ・将来に向けて、農地の維持管理等に対して、公的な支援が必要な状況である。
- ・圃場整備から約30年が経過しており、設備の老朽化により、改修が必要になっている地域もある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・担い手を中心に水稻の減農薬や特別栽培、有機農業等を取り入れて、安心かつ環境に配慮した農業を行う。
- ・丹後農業改良普及センターの指導の下、高収益作物などの導入を検討する。
- ・JAを通じた農産物の計画的な販売や担い手が有する販路を基本としつつ、新たな販路の開拓も検討する。
- ・担い手だけでなく、地域住民にも当事者意識を持ってもらい、農業を通じた地域づくりで地域全体の活性化を図り、農地の維持管理に努める。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	242.45 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	238.45 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	4.00 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

基本的に農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。
また、耕作者未定の農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
各集落毎に農業上の利用が行われる農地と農業上の利用が困難な農地を選定し、担い手への農地の集積と集約を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理事業を活用し、担い手への農地の集積と集約を行う。
(3)基盤整備事業への取組方針
地域、地権者、担い手等の意向を考慮した上で検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
地域内外から多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成する。 関係機関と連携し、相談から定着まで切れ目のない体制でサポートする。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
担い手等の意向を考慮した上で検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①地域による鳥獣害防護柵等の設置を進め、担い手が営農しやすい環境を整える。
- ②有機農業に関する講演会に参加する等、地域として段階的に取り組んでいく。
- ③共同利用機械を更新する際、先端技術を活用した農業用機械を積極的に導入する。
- ⑦多面的機能支払交付金等を活用し、農地、水路、農道等の地域資源の保全・管理を進める。
- ⑦中山間地域においては、中山間地域直接支払制度を活用し、農用地等の地域資源の保全・管理を進める。
- ⑧農業用機械の格納庫の設置及び改修、笹倉川三本木井堰取水口の改修、国営開発農地の再整備等、必要な農業用施設の整備を進める。
- ⑧水田地域及び国営農地の老朽化した用排水路、井堰、揚水機場、ため池、農道等の長寿命化等対策を進める。
- ⑩新規就農者を受け入れることにより、地域農業の若返りを図り、地域全体で農地を守る取り組みを進める。